

巻頭言

交流を楽しむということ

前田 健喜 (日本協同組合連携機構(JCA)協同組合連携2部部長/協同総研理事)

協同労働・よい仕事研究交流全国集會に参加させていただき数年が経つが、毎年の悩みはコメンテーターなのに「すごいですね！」しか言えないことだった。現場の皆さんの取り組みをいつも素晴らしいと感じながら、私から皆さんへの有益なアドバイスは全くできず、ここにいてよいのかなあ、と思っていた。それでも毎回、皆さんの取り組みは素晴らしくて聴いていて面白いし、JCAでの私の仕事である協同組合間連携促進にとってもワーカーズコープの取り組みを知ることには大事だし、「私、役に立っていないので辞めます」という思い切りもなく、お声がけいただくことを有難く感じつつ、やや引け目を感じながら参加してきたのだ。

しかし今回は、そういう引け目や焦りを感じることなく分散会に参加することができた。そのことについて書きたい。

今回私が引け目を感じなかった直接のきっかけはシンプルで、参加した第28分散会司会の星平さんが最初に「この場は交流すればいいんです」と場のあり方を示してくれて、「まともなコメントができなくて」という(確か事前打合せでの)私の悩みには「励ましてくれればいいんです」と言ってくれたことだった。それ

で私は「そうか。別に有益なこと、意味のあることを言わなくていいんだ」と思い、分散会にリラックスして臨むことができたのだ。「意味のあることを言う」「有益な情報を提供する」という目的を持ちながら皆さんの取り組みをお聴きするという、自分の中を二つに分けたような居方(いかた)ではない形で、皆さんのお話を聴くことができた。その場にしっかり居て、参加者の皆さんとの交流を楽しむ・味わうことができたということだ。交流を楽しんだということは、「皆さんと会えて嬉しい」という気持ちをちゃんと感じた、ということだと思う。

考えてみれば、「あなたに会えて嬉しいです」と感じて伝えたり受け取ったりする以上に大事なことは人生にあまりないように思う。実際、そういうメッセージ(言葉でそのように表現されない場合のほうが多いだろう。普段の挨拶や笑顔など)を受け取って「あ、これでしばらく幸せに生きられる」と思うことがある。そうしたメッセージで人は生きている、といっても言い過ぎではない気がする。

人間が何かをするとき、「何かのために何かをする」という構造をもっていることが多い。「職場に行くために電車に

乗る」「お金を得るために働く」など、目標を立て計画して実行することは、人間が人間であるための大事な営みだ。基本型は、収穫のために種を播き耕すことかも知れない。これだけの文明を創ってきたのも、人間がそういうことをできるからだろう。そういう人間の能力は必要で重要だし、否定したいわけではない。

ただ、今回の分散会の経験から思うのは、目的(例えば、今回の分散会で言えば、今後の取り組みに活かせる情報や気づきを得るとか人間関係を創る、などでしょうか)を目指すプロセスのなかでの行為(分散会に参加し報告したり質問をしたり意見を言ったりすること)の一つひとつには人との交流があって、その交流を楽しんだり味わったりすることはとても大事だということだ。

「交流を楽しむ」ということは、今回の分散会で話されていたこととも関係する。

何人もの方が、交流集会1日目の講演を聴いて地球の環境がここまで破壊されていることに深刻な危機感を持ったと話されていた。モノの生産や消費が環境破壊につながっている。「モノをつくること」に価値を置くのではなくて、「交流を楽しむこと」に価値を置くということは、地球環境を守ることにつながるはずだ。例えばイタリアで聞いた話だが、結婚式のと集まった人たちはお茶を飲みながら遅くまで(確か朝の3時頃までと言っていた)ただただおしゃべりをするらしい。環境破壊のほとんどない幸福の

かたちだ。

また、自分たちを地域に開いていくことの重要性も何度も出された。関係者を増やすことは、ものごとの複雑さややかいごとを増やすだろう。しかし、地域の皆さんと新しく出会える、つまり「交流を楽しむ」と考えることもできる。参加した皆さんの現場の取り組みから、楽しんで関係を広げていく様子を想像できた。

さらに「楽しいことが大事」ということも何度も言われた。「何かを達成するために」という目的をいったん横に置いて(視野の端のほうに見えているとしても)「交流を楽しむ」というプロセスそのものを大切にすることが重要で、結果としてそのことが目的達成にもよい方向に働くということだと思う。

ワーカーズコープの「よい仕事」には次の2つの要素があると思う。目的として、「その仕事は誰かのための、誰かにとって必要で大切な仕事でなければならない」ということ。それと併せて「目的を達するためのプロセス、目的に至るまでの過程それ自体(つまり働き方)が人間らしいものでなければならない」ということ。つまり、「よい仕事」の思想のなかに、プロセスを大事にするということもともと含まれている。

「交流を楽しむ」ことの大事さを感じた今回の分散会での私の経験は、「よい仕事」の重要なところに触れたことにもなるかも知れない。